

磯良男

ヴィオラ・リサイタル

2009年5月13日(水)

19:00開演(18:30開場)

東京文化会館

小ホール

チケット:全自由席 4,000円

— ヴィオラの魅力と共に55年 —

共演 堺康馬(ピアノ)

共演 磯晃男(ヴァイオリン)

磯良男70歳記念特別オーケストラ

指揮:カールマン・ベルケシュ

コンサートマスター:永峰高志

(NHK交響楽団第二ヴァイオリン首席奏者)

Program

ブラームス:ヴィオラ・ソナタ第1番

ヘ短調 作品120-1

J. Brahms: Sonate für Bratsche Nr.1 f-moll op.120-1

ヒンデミット:ヴィオラ・ソナタ 作品11-4

P. Hindemith: Sonate für Bratsche op.11-4

W.A.モーツァルト:

ヴァイオリンとヴィオラのための

協奏交響曲(シンフォニア・コンチェルタンテ)

変ホ長調 作品364

W.A. Mozart: Sinfonia concertante Es-dur K.364

主催:日本交響楽協会 後援:日本弦楽指導者協会

お問い合わせ

日本交響楽協会 TEL.03-5721-4621

チケットお取り扱い

■日本交響楽協会 TEL.03-5721-4621 ■東京文化会館チケットサービス TEL.03-5815-5452

■ローソンチケット TEL.0570-000-407(Lコード32471) ■CNプレイガイド TEL.03-5802-9990

ヴィオラの魅力と共に55年

日本ヴィオラ界を半世紀にわたり牽引し、

70歳を迎えた今も現役の奏者として一線で活躍する磯良男の記念リサイタル。

教育者としてもヴィオラ指導のメソッドを確立してその技術を多くの愛弟子達が受け継ぎ、

日本のヴィオラ奏者が国内外で活躍する礎を築きました。

その人柄を表すかのような、あたたかくて深みのある音色を、

半世紀の歴史に思いを馳せながらお楽しみ下さい。



磯 良男(ヴィオラ)

YOSHIO ISO (VIOLA)

10歳より天江安三郎に師事。後に村山信吉、小野アンナの下で研鑽を積み、1958年桐朋学園音楽科を卒業。在学中に第8回日本学生音楽コンクールにて入賞を果たす。83年から84年にかけて欧州4ヶ国で研修。これまでにソロ・リサイタルを9回開催した他、弟の磯恒男らと66年に結成したイソ弦楽四重奏団の活動は現在まで113回の定期公演を重ね、国内の弦楽四重奏団としては最高を誇る。現在、武蔵野音楽大学大学院教授、日本大学芸術学部講師、日本弦楽指導者協会理事長を務める。多摩フレッシュ音楽コンクール弦楽部門審査員。東京室内楽コンクール審査員。著書に「ビオラ教則本」「初心者のためのやさしいヴィオラ入門」(いずれもドレミ楽譜出版)「カンパニョーリ・41」のカプリース」(全音楽譜出版)。



堺 康馬(ピアノ)

YASUMA SAKAI (PIANO)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。クロイツァー賞受賞。ドイツ・エッセン音楽大学を経てベルリン芸術大学卒業。大学院在学中に武蔵野音楽大学管弦楽団の定期演奏会にてリストのピアノ協奏曲第1番を、また1984年ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演、87年武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブルのソリストとして九州演奏旅行に参加。ピアノ新人会「第81回35周年記念・協奏曲のタペ」にてチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を東京交響楽団と共演する他、室内楽・伴奏の分野でも幅広く活躍する。藪博之、福井直敬、栗田和雄、新井眞澄、K.ヘルヴィツヒに師事。現在、武蔵野音楽大学准教授、及び同大学附属高校講師。



磯 晃男(ヴァイオリン)

AKIYO ISO (VIOLIN)

武蔵野音楽大学卒業。ヴァイオリンを磯良男、萩原耕介、G.フェイギンに師事する。大学在学中オーディションに合格しサン＝サーンスのヴァイオリン協奏曲を学生オーケストラと共演。また武蔵野音大卒業演奏会、新人演奏会、読売新聞新人演奏会等に出演する。2000年ケルン音楽大学に留学しG.ペータースに師事。在学中は大学代表としてオランダにてエラスムス室内管弦楽団に参加。またドイツのバイロイト学生オーケストラでは第2ヴァイオリンソロおよび弦楽合奏団コンサートマスターに選ばれ、各地で演奏した。その後デュッセルドルフ管弦楽団研修員として約3年に渡りオペラやコンサートに出演し研鑽を積む。05年に帰国し日本での音楽活動を本格的にスタート。日本弦楽指導者協会会員。



カールマン・ベルケシュ(指揮)

KÁLMÁN BERKES (CONDUCTOR)

ハンガリー出身の指揮者、クラリネット奏者。リスト音楽院にてクラリネットをB.コヴァーチに師事。J.フェレンツク等に指揮の指導を受ける。ジュネーヴ国際、ミュンヘン国際コンクール入賞。またハンガリー国立歌劇場管、ブダペスト・フィル、ブダペスト祝祭管の首席クラリネット奏者を歴任。1987年より指揮活動を開始し、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団、同国立フィルの常任客演指揮者を歴任。これまでに、オランダ放送響、北ドイツ放送フィル、スイス・ロマン管、ヘルシンキ・フィル等にソリスト、指揮者として招聘されている。録音では、ナクソスよりリリースされたバルトーク作曲「コントラスツ」がグラミー賞室内楽部門にノミネートされ、金賞を受賞した。武蔵野音楽大学客員教授。

磯良男70歳記念特別オーケストラ

(指揮:カールマン・ベルケシュ)

磯良男70歳のリサイタルを記念しNHK交響楽団の現役・OBならびに武蔵野音楽大学の有志を中心に編成。

コンサートマスターにはNHK交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者永峰高志を迎える。